

第2学年及び第3学年の目標

- (1) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付けるようにする。
- (2) 曲にふさわしい音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。
- (3) 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、音楽に親しんでいく態度を養う。

第 2 学年【年間授業時数 35 時間】

	題材名(時数)◎目標	学習活動	評価規準
1 学期	<p>パートの役割を理解して合唱しよう(3)</p> <p>歌唱 「夢の世界を」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・歌詞の内容や曲想に関心をもつ。 ・音色(斉唱、二部合唱、混声三部合唱の響き)、リズム(4分の2拍子)、テクスチャ(斉唱、混声三部合唱)、構成(A, B)を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考える。 ・曲の部分ごとに自分のパートがどのような役割を担っているか理解させ、重なり方など曲の魅力を引き出す歌い方などの技能を身に付ける。 ・曲にふさわしい歌唱表現としてどのように表すかについて思いや意図をもつ。 ・創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付ける。 	<p>[知] 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。</p> <p>[技] 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。</p> <p>[思] 音色、リズム、テクスチャ、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。</p> <p>[態] 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。</p>
	<p>曲想と曲の構成を感じ取って歌唱表現を工夫しよう(3)</p> <p>歌唱 「だれのものでもない今を」</p> <p>◎旋律の重なり方を意識して声部の役割を生かして表現を工夫する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・歌詞の内容や曲想に関心をもつ。 ・音色(斉唱、混声三部合唱の響き)、リズム(4分の4拍子)、テクスチャ(斉唱、混声三部合唱)、構成(A, B)を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考える。 ・曲にふさわしい歌唱表現としてどのように表すかについて思いや意図をもつ。 ・創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付ける。 	<p>[知] 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。</p> <p>[技] 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。</p> <p>[思] 音色、リズム、テクスチャ、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。</p> <p>[態] 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。</p>

	<p>旋律が重なり合っていくおもしろさを味わおう (3) 鑑賞 「フーガ ト短調」 ◎多声的な音楽の構造や曲想との関わりを理解して面白さを味わう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・曲に関心をもつ。 ・曲想と音色（パイプオルガンの響き）、旋律（主題）、テクスチャ（旋律の重なり方）、形式（フーガ）との関わりについて理解する。 ・音色、旋律、テクスチャ、形式を知覚・感受しながら、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。 	<p>[知] 曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。 [思] 音色、旋律、テクスチャ、形式を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。</p>
<p>1 ～ 2 学 期</p>	<p>混声合唱へのステップ (8) 歌唱 合唱コンクール課題曲 自由曲 一さまざまな曲想表現— ◎音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す曲想や魅力を生かして表現を工夫する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解する。 ・速度、旋律、テクスチャ、強弱、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、歌唱表現を創意工夫する。 ・創意工夫を生かし、これまでに身に付けた知識や技能を生かしながら、全体の響きや各声部の声などを聴き、他者と合わせて歌う技能を身に付ける。 	<p>[知] 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。 [技] 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。 [思] リズム、速度、旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。 [態] 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。</p>
<p>2 学 期</p>	<p>日本の伝統音楽に親しみ味わおう (4) 鑑賞 歌唱 器楽 歌舞伎 長唄 「勸進帳」 ◎長唄の歌唱や鑑賞や三味線の演奏を通して、歌舞伎音楽のよさや美しさを味わう。 ◎三味線にかかわる知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現を創意工夫する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・歌舞伎への関心を高める。 ・歌舞伎の成り立ちや特有の表現、音楽などについて理解する。 ・歌舞伎音楽の一つである長唄の声の音色や旋律、囃子の音色や合わせ方、速度などの特徴を感じ取る。 ・歌舞伎特有の表現、長唄の節回しなどに関心を持ち、音色、リズム、速度、旋律を知覚・感受しながら、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。 <ul style="list-style-type: none"> ・楽器の音色や響きと奏法との関わりについて理解する。 ・創意工夫を生かした表現で演奏するために必要な奏法、身体の使い方などの技能を身に付ける。 ・創意工夫を生かし、他者と合わせて演奏する技能を身に付ける。 	<p>[知] 音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりについて理解している。 [思] 音色、リズム、速度、旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。 [態] 音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 [知] 楽器の音色や響きと奏法の関わりについて理解している。 [技] 創意工夫を生かした表現で演奏するために必要な奏法、身体の使い方などの技能、創育工夫を生かし他者と合わせて演奏する技能を身に付け器楽表現している。 [思] 音色、旋律を理解し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受との関わりについて考え、曲にふさわしい器楽表現としてどのように奏すかについて思いや意図を持っている。 [態] 三味線の特徴や基礎的な奏法に関心を持ち、音楽活動を楽しみながら</p>

			主体的・協働的に器楽の音楽活動に取り組もうとしている。
2 ～ 3 学 期	混声合唱へのステップ (8) 歌唱 連合音楽会の曲 ◎音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す曲想や魅力を生かして表現を工夫する。	<ul style="list-style-type: none"> ・曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解する。 ・速度、旋律、テクスチュア、強弱、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、歌唱表現を創意工夫する。 ・創意工夫を生かし、これまでに身に付けた知識や技能を生かしながら、全体の響きや各声部の声などを聴き、他者と合わせて歌う技能を身に付ける。 	[知] 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。 [技] 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。 [思] リズム、速度、旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。 [態] 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。
3 学 期	曲想と音楽の構造との関わりを理解してその魅力を味わおう (3) 鑑賞 「交響曲第5番 ハ短調」 ◎曲の構成に注目しながら、曲想の変化を味わおう。 混声合唱へのステップ (3) 歌唱 卒業式の歌	<ul style="list-style-type: none"> ・本題材の見通しをもち、曲に関心をもつ。 ・曲想と音色（オーケストラの響き）、リズム（動機）、旋律（動機、主題、ハ短調）、形式（ソナタ形式）、構成（動機や主題の反復や変化）との関わりについて理解する。 ・「交響曲第5番 ハ短調 第1楽章」の音色、リズム、旋律、形式、構成を知覚・感受しながら、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。 ・曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解する。 ・速度、旋律、テクスチュア、強弱、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、歌唱表現を創意工夫する。 ・創意工夫を生かし、これまでに身に付けた知識や技能を生かしながら、全体の響きや各声部の声などを聴き、他者と合わせて歌う技能を身に付ける。 	[知] 曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。 [思] 音色、リズム、旋律、形式、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。 [態] 曲の構成と曲想の変化に関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 [知] 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。 [技] 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。 [思] リズム、速度、旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。 [態] 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。